



当社初、VtoH+大容量蓄電池を併設するエネルギー自給自足型^{※1} 展示場 『城東スマートパワーステーション GR 展示場』をオープン

■PV+VtoH システム+蓄電池によるエネルギー自給自足型を展示場で目指す

■「環境」「減災」「モビリティ」3つの分野で貢献・提案を図る展示場

2020年12月1日

セキスイハイム中四国株式会社

セキスイハイム中四国株式会社（代表取締役社長：水山健二、本社：岡山市北区）は、2020年12月1日（火）、プレステージ城東展示場内に、当社初のエネルギー自給自足型の展示場『城東スマートパワーステーション GR 展示場』（以下「城東展示場」）をオープンいたします。

オープンするのは、セキスイハイムグループが展開する「スマートハイム」のフラッグシップ商品「スマートパワーステーション GR」に、住宅と蓄電池、さらに電気自動車（以下「EV」）を連携するシステム「VtoHeimPlus」^{※2}を備えたエネルギー自給自足型の住宅展示場です。エネルギーの自給自足型を目指すとともに、停電時の安心も確保した^{※3}住宅展示場です。

『城東スマートパワーステーションGR展示場』の特徴

1.PVとVtoHシステム+蓄電池によるエネルギー自給自足型を展示場で目指す

城東展示場は、8.89kW の大容量太陽光発電システム（以下「PV」）、12kWh の蓄電池、VtoH（Vehicle to Home）の3システムを組み合わせた機能「VtoHeimPlus」^{※2}を搭載した、当社初のエネルギー自給自足型の住宅展示場です。城東展示場の電気は、基本的にPV 発電による自家消費と、蓄電池とEV に貯めた電力で賄うため^{※1※4}、お客様にエネルギー自給自足型住宅のメリットや使い勝手を実感していただけます。

また、充電スタンド、非常用電源などの積極的な提供を行い、地域でのエネルギー自給自足型住宅の普及を促進すると同時に、社会的意義の認知度向上もはかります。

2.「環境」「減災」「モビリティ」3つの分野で貢献・提案を図る展示場

- ①再生可能エネルギーによる自給自足型を目指す運営で「環境貢献」
- ②強い躯体構造と停電時の電力確保^{※3}による「減災貢献」
- ③EV 連携の利便性により車が欠かせないエリアへ「新モビリティ提案」

■施設概要

- ◎所在地：岡山県岡山市中区下 126-1
- ◎オープン日：2020年12月1日（火）
- ◎開館時間：10：00～18：00
- ◎定休日：毎週火曜日・水曜日（他、当社の定休日に準じます）

■城東展示場オープンの背景

環境問題の高まりと技術の進歩により PV 搭載住宅や EV は増加傾向にあります。セキスイハイムグループでは、これまで業界に先駆け、大容量 PV、蓄電池、VtoH システムなどエネルギー自給自足型住宅関連技術の実用化に取り組んできました。これらの活動は、国連が提唱する SDGs^{※5} で示されている、持続可能な社会の実現のための目標に沿うものです。



とりわけ SDGs が提唱する「住み続けられるまちづくり」を目標とするとき、インフラ整備や自然災害の頻度など、地域ごとに異なる状況・ニーズに対応していく必要があります。当社販売エリアでは、昨今、多くの地域が、豪雨、大型台風による停電などの被害を受けています。また、ガソリンスタンドは全国的にも減少方向にあり、電力供給源にもなるエネルギー自給自足型住宅の普及は社会命題でもあります。

城東展示場では、日常生活での環境性・経済性、災害時における安心、EV 活用の利便性について実際にご体感いただくことで、地域での販売強化をはかると同時に、地域貢献の視点から、再生可能エネルギーの供給拠点としての価値提供を目指します。

■城東展示場の特長

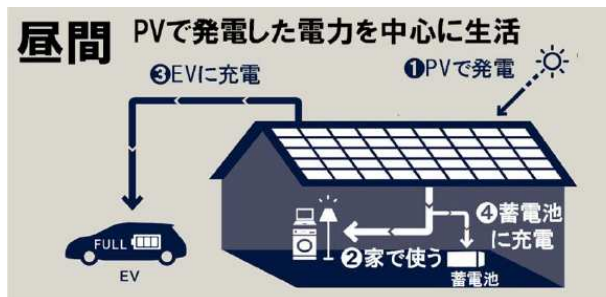
1.PVとVtoHシステム+蓄電池によるエネルギー自給自足型を展示場で目指す

城東展示場は、「スマートハイム」のフラッグシップ商品「スマートパワーステーション GR」に、8.89kW の大容量 PV に加え、住宅と EV をつなぐことで充電・給電が可能な VtoH システムと 12kWh の蓄電池を組み合わせた機能「VtoHeimPlus」^{※2} を搭載しています。エネルギーの自給自足型を目指すとともに、停電時の安心感も確保しています^{※3}。セキスイハイム独自の全室空調システム「快適エアリー」を搭載しながらも、高い断熱・気密性の躯体や「トリプルガラス樹脂サッシ」による省エネ性で、エネルギー自給自足型の実現を目指します。

■スマートパワーステーション GR の大容量 PV (イメージ)



■電力使用イメージ^{※1}



2. 「環境」「減災」「モビリティ」3つの分野で貢献・提案を図る展示場

①再生可能エネルギーによる自給自足を目指す運営で「環境貢献」

城東展示場で使用する電気は太陽光発電による電気を基本として、営業活動を行います^{※1}^{※4}^{※6}。オフィススペースを除く居室スペースは、昼間はPVで発電した電気を自家消費し、夜間は蓄電池とEVに貯めた電気を利用します。EV走行もPV電力から貯めた電力を使用し、施設運営により排出されるCO₂を削減することで、環境貢献するとともに、展示場を実例としてクリーンエネルギーによる自給自足型を目指す生活スタイルの快適性・経済性をご確認いただけます。

これらにより、固定価格買取制度（FIT）によるPV電力の買取終了後の、再生可能エネルギー活用としてセキスイハイムグループが推進するエネルギー自給自足型住宅の環境性・経済性の認知度向上と販売強化を図ります。

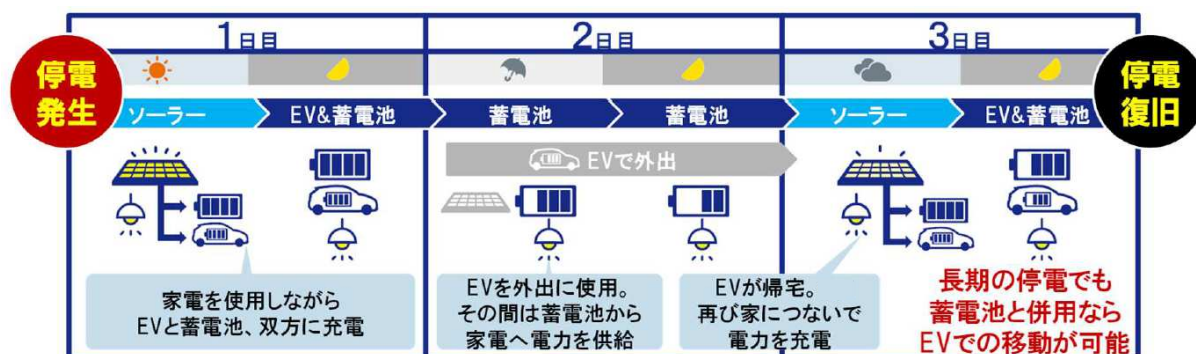
②強い躯体構造と停電時の電力確保による「減災貢献」

昨今、地震や大型台風、豪雨など災害による被害が頻発化、甚大化しています。中四国エリアでも2018年の西日本豪雨など各地に大きな被害をもたらした災害が続きました。西日本豪雨の際には、岡山県内だけでも約51,200戸におよぶ停電が発生し、一部では停電が数日間に及び^{※7}、日常生活に大きな影響を及ぼしました。

城東展示場で採用した「スマートパワーステーションGR」は、ボックスラーメン構造の強い躯体で災害発生時の被害を抑えることができ、さらに、「VtoHeimPlus」^{※2}の機能により停電時にも電力確保が可能^{※3}な在宅避難も可能な住宅展示場です。

停電時、日中はPVから、夜は蓄電池とEVから家に給電するため、家電や照明の使用、情報機器の充電などが可能です^{※3}。蓄電池に加えEVの大容量バッテリーから給電できるため、長期停電時、天候が悪くPV発電が少ないもしくは消費電力が多い場合でも、より安心です^{※3}。また、EVはPVで発電した電力から充電できるため、ガソリンの補給に奔走することもなく移動の手段も確保^{※8}できます。

災害などによる停電が起きた場合は、周辺エリアにお住まいの方に、スマートフォンなど情報機器の充電用に電源をご提供し、地域の発電所として減災貢献拠点となることを目指します。



※上記の暮らしイメージは、2018年に発生した台風21号の実邸レポートをもとにシミュレーションしたものです。
※天候およびお客様の家電使用状況やPV、蓄電池の使用によるため、稼働を保障するものではありません。

③EV 連携の利便性により、車が欠かせないエリアへ「新モビリティ提案」

EV を実際に城東展示場と連携することで、PV で発電した電力を EV への充電や、住宅への給電^{*3} に利用する方法をご紹介します。

これらを通じて、生活に車が欠かせず、かつガソリンスタンドが減少傾向にあるエリアにお住いのお客様に、EV と連携する VtoH システムを備えた住宅を、燃料費削減の観点、利便性の観点から新たなモビリティ活用方法の一つとしてご提案します。

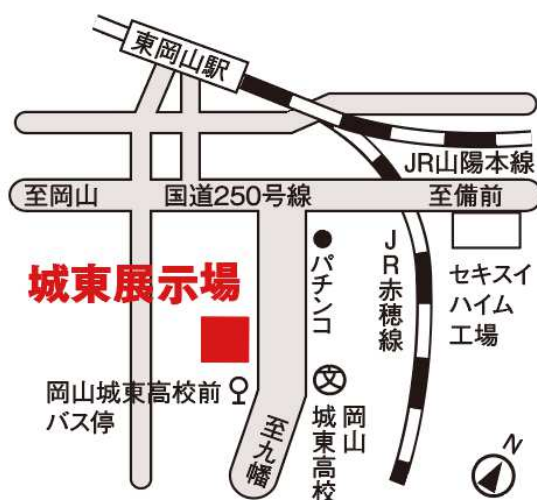
■城東スマートパワーステーション GR 展示場外観イメージ、アクセス

●地上2階建て 延床面積 187.91㎡ (1階 120.66㎡、2階 67.25㎡)



■住所

岡山県岡山市中区下 126-1



※1：すべての電力を賄えるわけではありません。電力会社から電力を購入する必要があります。

※2：VtoHシステムには、生命に関わる機器など(医療機器など)やエレベーターなど、途中で電源が切れると困る電気製品には接続しないでください。生命に関わる機器(医療機器など)やエレベーターなどは一般分電盤へ接続してください、生命に関わる機器(医療機器など)は、お客様でご用意された機器ごとに求められるバックアップ電源につないでください。

※3：停電時に蓄電池やEVの蓄電残量がないと、電力は復旧しません。同時に使用できる電力には限りがあります。また、停電時において、EVの蓄電池容量が自動車メーカーが設定している放電下限値（車種により異なる）を下回る場合、EVから宅内に電気を供給すること（放電）およびEVへの充電ができなくなります。その場合も停電が復旧すれば元に戻ります。

※4：展示場内オフィス部分の電源は別回路とします。

※5：SDGs とは、2015 年に国連で提唱された持続可能な世界を実現するために達成すべき17 の目標のことです。

※6：雨天や積雪時など太陽光発電量を消費電力量が上回る状態が数日間継続するような場合は除きます。

※7：中国電力株式会社調べ（大雨による停電状況について 7月12日13時00分時点）

※8：車種によっては放電下限値を下回ると走行できない場合もあります。

<セキスイハイム中四国株式会社 会社概要>

- 設 立：1986年10月
- 資 本 金：3億円（積水化学工業㈱ 100%出資）
- 代 表 者：代表取締役社長 水山健二
- 売 上 高：308億円（2020年3月期実績）
- 従 業 員 数：775名（関連会社連結/2020年4月1日時点）
- 事 業 内 容：ユニット住宅「セキスイハイム」「ツーユーホーム」の販売と設計・施工管理、
集合住宅の販売と設計・施工管理及び宅地分譲等の不動産取引。
- 事 業 所：本社、山口支店、広島支店、福山支店、岡山支店、愛媛支店、山陰支店
- グループ会社：セキスイファミエス中四国㈱、中四国セキスイハイム不動産㈱
- 本 社 所 在 地：〒700-0907 岡山市北区下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエアビル7F）

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム中四国株式会社 岡山支店

〒700-0976 岡山市北区辰巳 19-103

担当：企画課（波賀） TEL：086-800-6600 FAX：086-800-6611